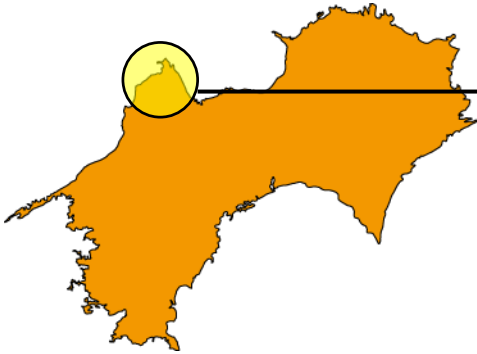


獣医大学を四国に

—安全安心の確保と地域産業強化のために—

平成25年12月 愛媛県・今治市

地域に貢献する新しい獣医大学



1 危機管理事象発生時の学術支援拠点

2 畜産物の安全確保・ブランド化

3 水産物の競争力強化・養殖技術の革新

4 ライフサイエンス分野への貢献

5 卒後臨床教育・技術研修拠点

6 地域動物医療における2次診療拠点

地元定着の誘導措置

県

四国地域
入学枠の
設定と奨
学金制度
の創設

県

県機関で
の単位取
得型イン
ターンシ
ップ制度

市

市内事業
者に対す
る獣医師
雇用奨励
金の交付

市

学生と地
域社会と
の交流事
業への助
成制度

県

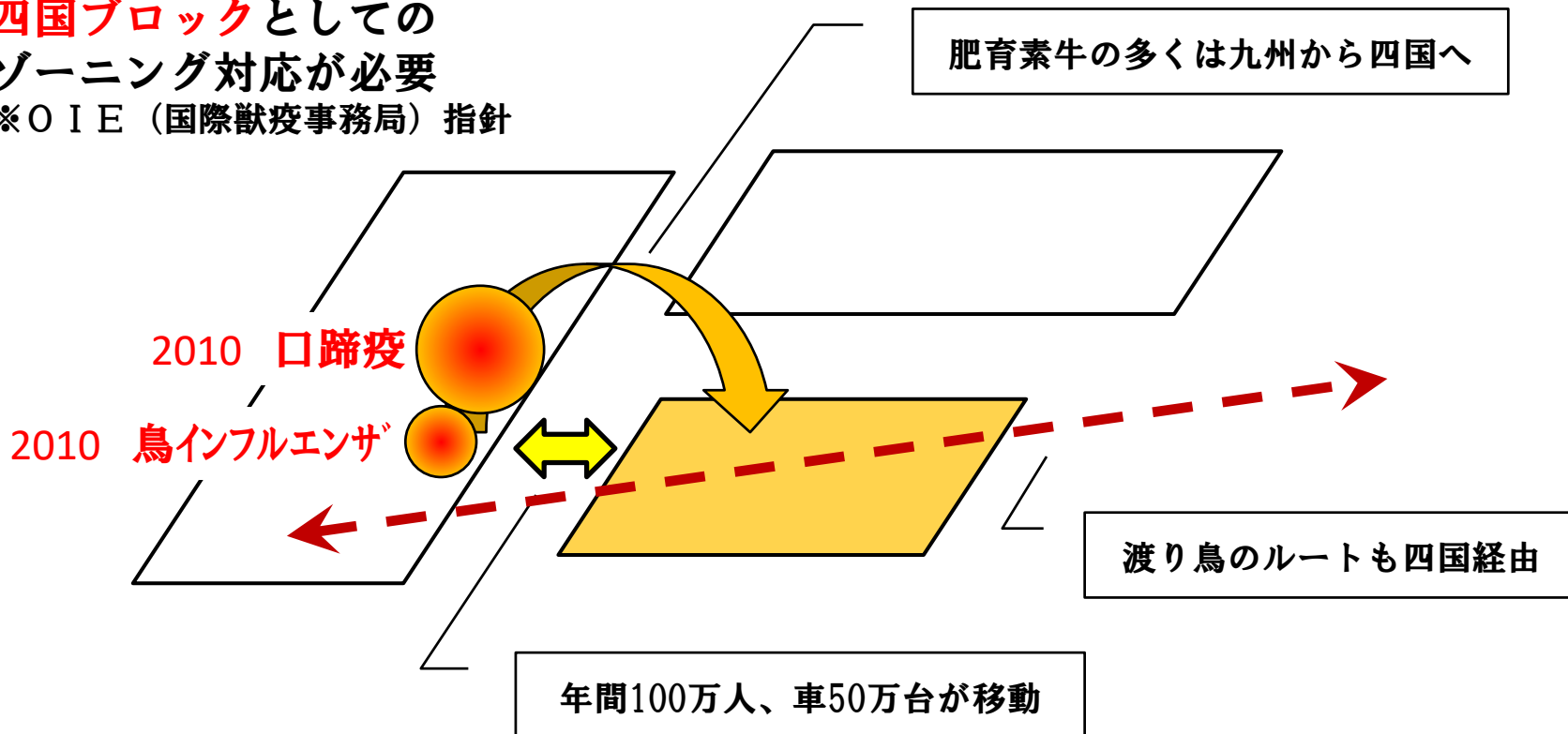
大学周辺
地域への
ライスサ
イエンス
企業誘致

大学

産業動物
・公衆衛
生コース
等の専門
課程設置

1 危機管理事象発生時の学術的支援拠点

蔓延防止のためには
四国ブロックとしての
ゾーニング対応が必要
※OIE（国際獣疫事務局）指針



2 畜産物の安全確保・ブランド化

TPP新時代

⇒ 高付加価値化・低コスト化が急務

中山間地が多い四国において規模拡大が進む畜産業は、地域経済や雇用確保等の面で重要な位置付けにある

愛媛

- 愛媛ブランド牛 (開発中)
- 愛媛甘とろ豚
- ◎ 媛っこ地鶏

高知

- 土佐あかうし
- ◎ 土佐はちきん地鶏

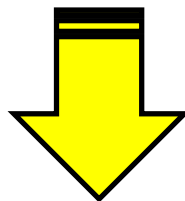


- 讃岐オリーブ牛
- 讃岐夢豚
- ◎ 讃岐コーチン

香川

- 阿波牛
- 阿波とん豚
- ◎ 阿波尾鶏

徳島

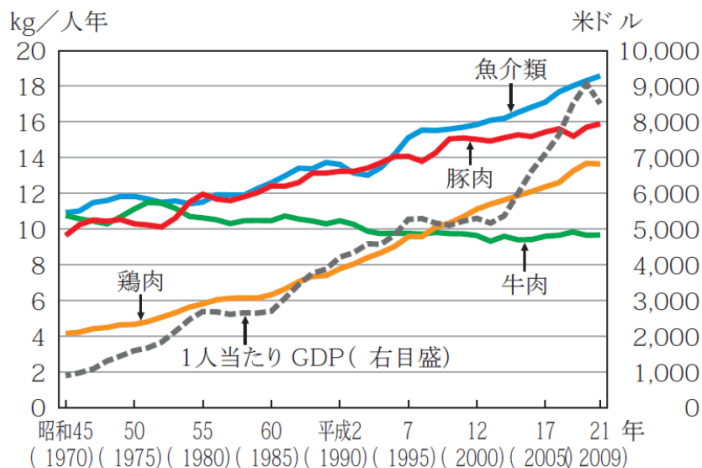


国内大都市圏やアジア地域への販路拡大

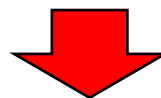
※1 「日本再興戦略」において、2020年に農林水産物・食品の輸出額を1兆円に倍増させる目標

※2 農林水産省は26年度概算予算に「イスラム圏向けハラール対応型食肉処理施設整備事業」などを計上

3 水産物の競争力強化・養殖技術革新



- ★ 魚介類の消費量は世界各地域で増加
- ★ 増加ペースは肉類を上回る
- ★ 資源管理の観点から漁業生産量は頭打ち



- ◎ 今後は養殖漁業のニーズが一層拡大
- ◎ 養殖現場での獣医師の活躍が不可欠

※H13.2.11 日本産業動物獣医学会で議論

世界の一人当たり食料供給量の推移 (H24水産白書より)

愛媛 海面養殖生産 全国第1位

愛媛県養殖魚イメージ
アップ戦略「愛育
フィッシュ」
と大学が連携
し、高品質の
養殖魚を供給



愛媛水産物輸出促進共同
企業体（ナインウェーブ）と大学が
連携し、地域
水産物の輸出
を促進



ナインウェーブ
愛媛県水産物輸出促進共同企業体

4 ライフサイエンス分野への貢献

成長産業と位置付けられる医薬品開発現場での活躍

※ 「日本再興戦略」→ 医薬品・医療機器・再生医療製品等の世界最先端の革新的な製品を創出

iPS細胞等の再生医療分野での貢献と獣医再生医療への応用

地域の大学（医学部・薬学部等）との連携による新分野開拓

※ 愛媛大学「プロテオサイエンスセンター」「沿岸環境科学研究センター」「南予水産研究センター」
松山大学薬学部など

地元企業との連携によるライフサイエンス人材の育成

※ 食品関連企業や医薬・医療関連企業など

関連産業の誘致等による産学官連携の研究開発拠点創出

※ 大学用地周辺には広大な産業用地も確保済み

5 卒後臨床研修・技術研修拠点

地域の獣医療レベルを高めるためには、地域内に卒後臨床研修拠点が必要

高度化する獣医学の知識拠点として様々なデータを蓄積

大学と行政機関が連携し、現職公務員の研究環境としても活用

6 地域動物医療における2次診療拠点

1次診療を担う地域の動物病院と連携し、高度医療を提供

動物愛護や食の安全安心等に関する県民啓発拠点に

地域の熱い期待

要望中

<愛媛県>

構造改革特区提案 (2007年～)

重要施策要望 (2007年～)

愛媛発規制緩和提言 (2013年)

<今治市>

構造改革特区提案 (2007年～)

<四国4県>

四国知事会による提言 (2009年～)

<各種団体>

愛媛県獣医師会 (2013年5月)

愛媛県商工会議所連合会 (2010年5月)

愛媛県高等学校長協会 (2010年5月)

今治商工会議所 (2010年5月)

今後調整

<四国4県>

4県知事連名の要望

<各種団体>

四国3県獣医師会

愛媛県畜産協会

愛媛県農業協同組合中央会

愛媛県漁業協同組合連合会

愛媛県食品衛生協会

獣医師を取り巻く環境の変化

◎ グローバル時代における感染症の脅威や食品の安全確保

国境を越えて人や物資が大きく移動する時代にあっては、家畜感染症や人獣共通感染症の伝播経路が複雑多様化し、そのスピードも増すなど、動物の安全や人の生命への脅威が増大。また、感染症以外にも、中国製冷凍餃子に代表される有害物質の混入など、食品の安全確保に係る社会ニーズが増大。

◎ 食の安定的供給と地域産業競争力の維持確保

少子高齢化と社会構造の変化により第一次産業の維持が困難を極め、更にはTPPによる自由競争の拡大が不可避となった現在、畜産や養殖漁業においては生産コストの低減と高品質化・ブランド化による差別化が喫緊の課題であり、品種開発や生産管理の分野における獣医師の活躍が不可欠。

◎ 自然環境の変化による生物多様性の崩壊

自然環境の破壊や環境汚染等による種の絶滅、動物の越境等による固有生態系の破壊、野生生物と人との接触機会の増大など、人と自然を取り巻く問題も複雑多様化しており、生物学の知見を有する獣医師の活動域は拡大。

◎ ライフサイエンス（生命科学）分野での貢献

成長産業として期待される医薬品開発や、高度医療の道を切り拓く再生医療など、ライフサイエンス分野は今後の発展が望まれる分野であり、医学や薬学と連携してイノベーションを起こすためには、高度な知見と技術を有する獣医師が必要。

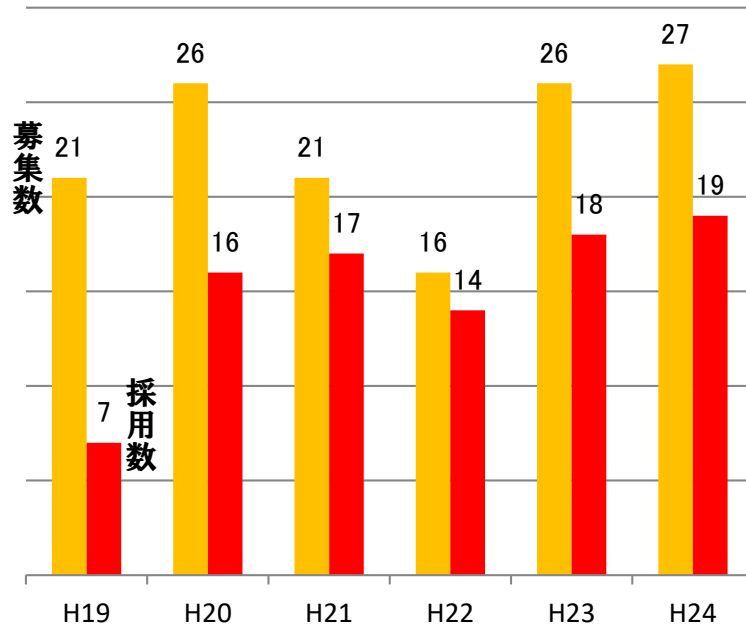
◎ 伴侶動物に対する価値観の変化

飼い主の飼育動物に対する考え方も、ペットからパートナーへとその価値観は大きく変化しており、医療分野と同様に、消化器系、循環器系、泌尿器系といった高度専門化された獣医療の提供が必要。

参考資料2

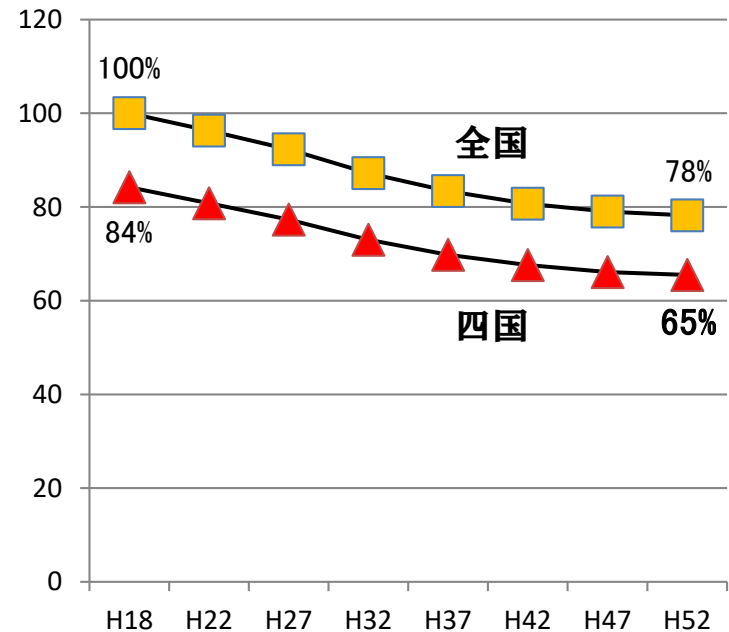
公務員獣医師・産業動物獣医師の確保が困難

公務員獣医師の募集・採用状況 (四国4県)



◎四国4県とも恒常的に採用不足状態

産業動物獣医師の需給見通し



出所：農林水産省「獣医師の需給に関する検討会報告書」(19年5月)

◎将来の充足率は、わずか65%

四国は獣医大学の空白地帯

